「遠隔授業に関するアンケート」結果について

I. アンケート概要

高松学長より、東邦大(統)第2-138 号「遠隔授業に関する全学的なアンケートの実施について(依頼)」を受け、実施した。

(1) 目的:

教育の質保証の観点から、令和 2 年度に実施した遠隔授業の実態および学生からの評価等を把握するとともに、その結果を分析することで、今後の遠隔授業の計画・実施に向けた示唆を得ること。

(2) 対象者: 学部学生

(3) 期間: 2020年12月15日(火)~2021年1月11日(月)

(4) 方法: Google フォームを用いた web アンケート

(5) 留意事項:

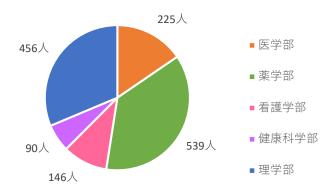
本アンケートは匿名で実施した。回答を一人1回に制限する関係上、学校法人東邦大学で発行している Google アカウント(個人)にログインしてもらったが、アカウントの収集は行わなかった。

Ⅱ.アンケート回答数

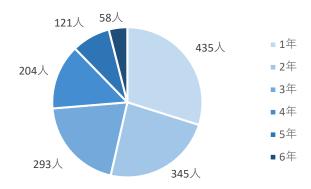
学部	在学者数	回答数	回答率		П	答数学	年別内	訳	
				1年	2 年	3年	4年	5年	6年
医学部	715	225	31.5%	70	50	32	20	29	24
薬学部	1,516	539	35.6%	124	101	84	104	92	34
理学部	2,050	456	22.2%	171	122	131	32		
化学科	364	85	23.4%	29	15	35	6		
生物学科	352	59	16.8%	24	16	17	2		
生物分子科学科	339	56	16.5%	19	20	12	5		
物理学科	306	63	20.6%	22	13	25	3		
情報科学科	427	95	22.2%	42	26	20	7		
生命圏環境科学科	262	98	37.4%	35	32	22	9		
看護学部	446	146	32.7%	42	46	35	23		
健康科学部	268	90	33.6%	28	26	11	25		
総計	4,995	1,456	29.1%	435	345	293	204	121	58

Ⅲ.設問と回答

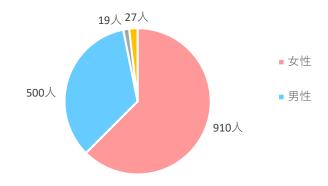
- 属性について 皆さんの所属について教えてください。
- 1-1. 学部を教えてください。



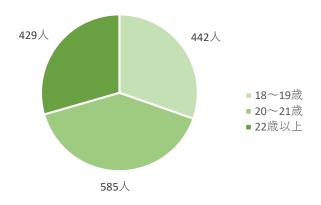
1-2. 学年を教えてください。



1-3. 自認する性別を教えてください。



1-4. 年齢を教えてください (令和 2 年 12 月 15 日現在の年齢で回答してください)。



2. 受講環境について

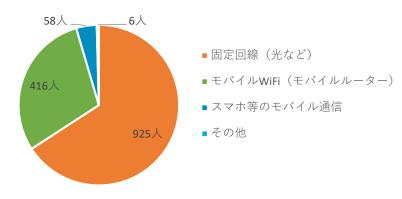
2-1. 授業は主にどこで受講していますか? 1番多い場所を回答してください。



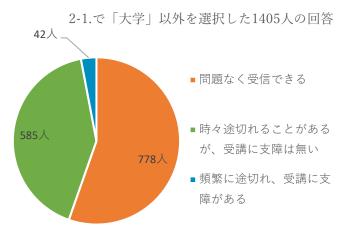
2-2. 大学のどこで受講していますか? (2-1.で「大学」を選択した場合のみ回答)

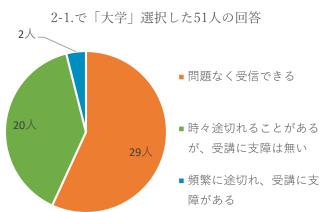


2-3. その受講場所の通信環境は何ですか? (2-1.で「大学以外を選択した場合のみ回答」)



2-4. その受講場所の通信状態はどうですか?

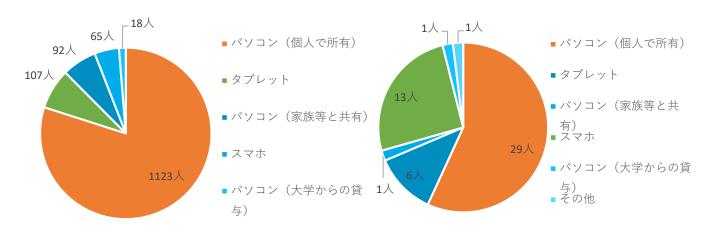




2-5. そこで受講するにあたり、何を主に使っていますか?

2-1.で「大学」以外を選択した1405人の回答

2-1.で「大学」選択した51人の回答



3. 実施された遠隔授業について

4月から 12月までに行われた遠隔授業について教えてください (病院での臨床実習や臨地実習は含みません)。

授業方法の定義を以下に示します。

- ①通常の対面式授業
- ②リアルタイム (同期)・双方向授業 (ビデオ会議システムを用いて実施)
- ③非同期・On demand 授業(主に講義映像や動画などを配信)
- ④非同期・On demand 授業(主に講義資料や音声スライドなどを配信)
- ⑤混在型授業 (一つの科目の中で②と③、もしくは④を併用)

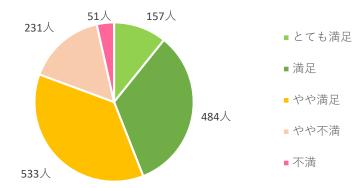
授業形態の定義を以下に示します。

- ①講義:教員による知識の伝達を中心とした授業
- ②演習:問題演習やグループ討議を中心とした授業
- ③実習:実験や観察のような自らが実践する授業
- ④臨床実習:病院や施設などで医療者の一員として学ぶ授業

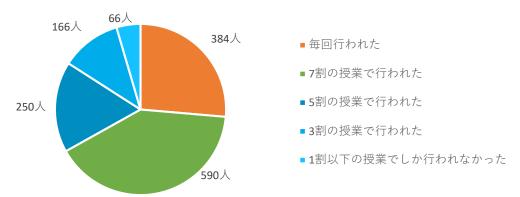
3-1. 受けた遠隔授業は主にどのような形式でしたか?



3-2. 受けた遠隔授業の満足度を5段階で評価してください?



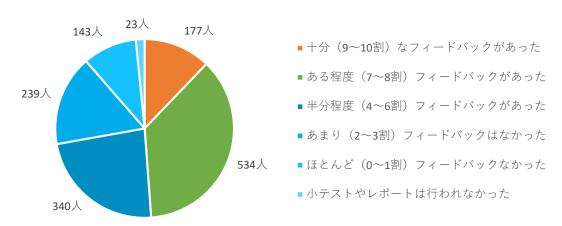
3-3. 受けた遠隔授業では知識修得確認のための小テストやレポートは行われましたか?



3-4. 行われた小テストの準備のための時間やレポート作成の費やした時間はどうでしたか?4 段階で評価してください。



3-5. 小テストやレポートのフィードバックはありましたか?

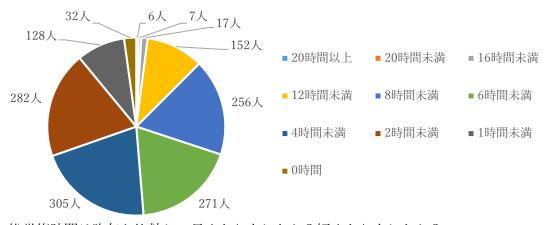


- 3-6. 遠隔授業の実施に関して、何か意見がありましたら記載してください。(自由記述) <一部抜粋>
 - ・私以外にもオンライン授業だと勉強に集中できないなどの声がとても多く、1年生のほとんどが 普段の講義や定期テストに向けて不安を抱いています。今は新型コロナウイルスの影響でこの ような授業形態をとることは仕方の無いことですが、もっと遠隔授業について意見を集めるべ きだと思いました。
 - ・春学期の前半はほとんどの授業が資料のみの配布や音声スライドで、先生の姿を見ることなく 終わった授業もあり不安だった。
 - ・科目によってレポート等の負担が異なるので、偏りがあるように感じました。また、課題に対 するフィードバックが少ないと感じます。
 - ・zoom で対面と同じように授業をしてくれる人もいれば、ただ講義資料を載せただけで終わりの 授業もあった。いつも授業しているのにどうして zoom でおなじように授業することができな いのでしょうか。それでも授業料が同じとなったら不満が出るのは当然だと思う。
 - ・講義資料を配送してくれる科目とそうでない科目があった。学生はパソコンを買ったり、回線 状態をよくしたり、コピー機を買ったり色々と負担が多かったので、もっと配慮があってもよ いのではないかと思います。

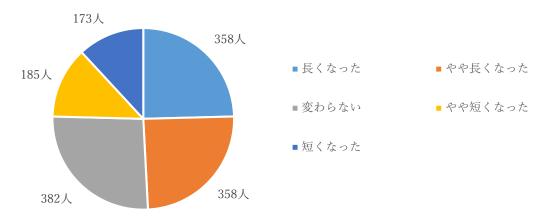
4. 学修時間の変化について

4月から 12月の間に遠隔授業が幅広く行われたと思いますが、学修時間の変化ついて回答してください (1年生は入学前の学修と比較して、2年生以上は昨年の学修と比較して回答してください)。

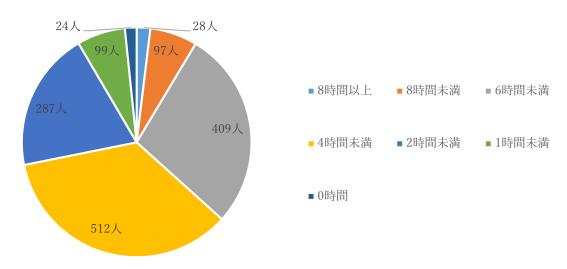
4-1. 総学修時間(平日1日の授業時間に予習・復習時間を加えた学修時間)は何時間でしたか?



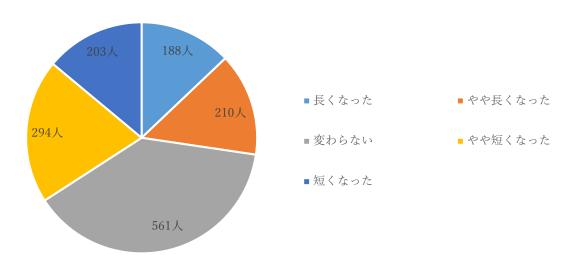
4-2. 総学修時間は昨年と比較して長くなりましたか?短くなりましたか?



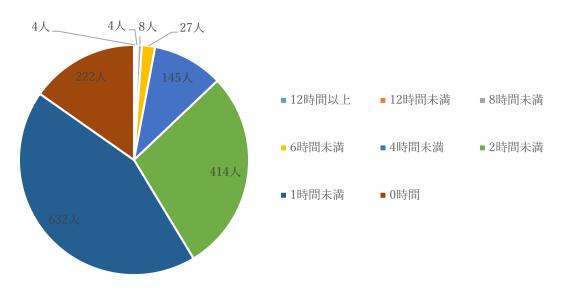
4-3. 授業内学修時間 (平日1日の学修時間) は何時間でしたか?授業のコマ数ではなく実際に学修した時間で答えてください。



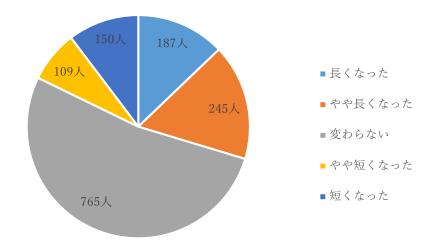
4-4. 授業内学修時間は昨年と比較して長くなりましたか?短くなりましたか?



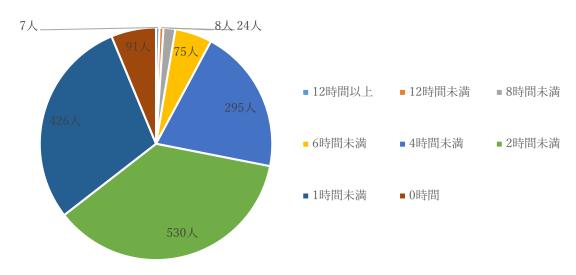
4-5. 予習に費やした授業外学修時間(平日1日の学修時間)は何時間でしたか?



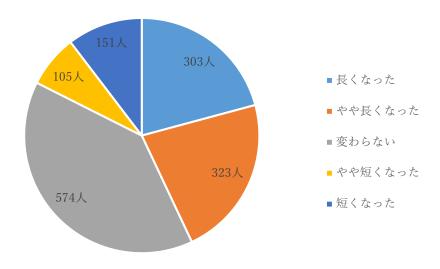
4-6. 予習に費やした授業外学修時間は昨年と比較して長くなりましたか?短くなりましたか?



4-7. 復習に費やした授業外学修時間(平日1日の学修時間)は何時間でしたか?



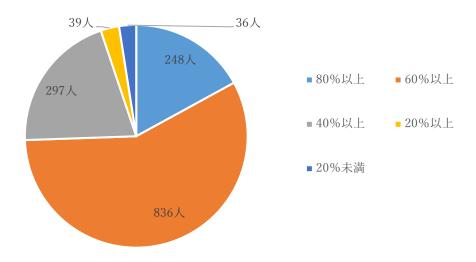
4-8. 復習に費やした授業外学修時間は昨年と比較して長くなりましたか?短くなりましたか?



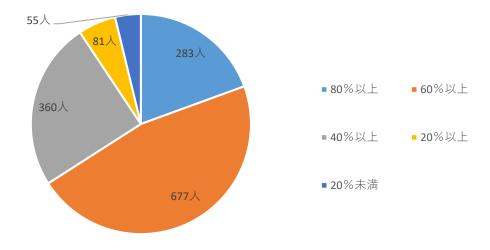
5. 学修成果について

4月から 12月までに行われた遠隔授業の学修効果について、能力の修得度(シラバスで明示されている到達目標)の観点から自己評価をしてください。

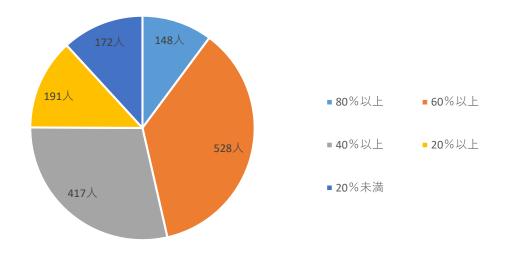
5-1. 求められている到達目標はどの程度達成できたと思いますか?



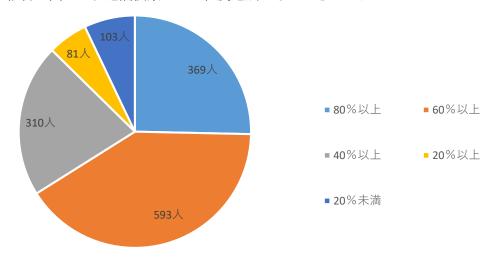
5-2. 知識の修得に関して、遠隔授業でどの程度達成できたと思いますか?



5-3. 技能の修得に関して、遠隔授業でどの程度達成できたと思いますか?



5-4. 態度の修得に関して、遠隔授業でどの程度達成できたと思いますか?



6. これからの授業について

来年度以降、皆さんが期待する学修スタイルについて今までの経験をもとに回答してください(基本的には COVID-19 感染の有無とは関係なしに検討してください)。

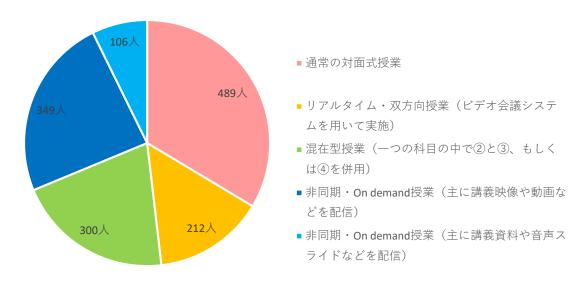
授業方法の定義を以下に示します (再掲)。

- ①通常の対面式授業
- ②リアルタイム・双方向授業 (ビデオ会議システムを用いて実施)
- ③非同期・On demand 授業(主に講義映像や動画などを配信)
- ④非同期・On demand 授業(主に講義資料や音声スライドなどを配信)
- ⑤混在型授業 (一つの科目の中で②と③、もしくは④を併用)

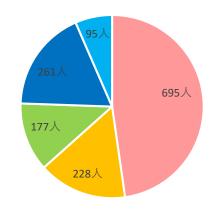
授業形態の定義を以下に示します。

- ①講義:教員による知識の伝達を中心とした授業。
- ②演習:問題演習やグループ討議を中心とした授業。
- ③実習:実験や観察のような自らが実践する授業。
- ④臨床実習:病院や施設などで医療者の一員として学ぶ授業。

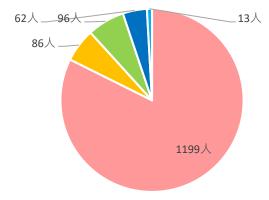
6-1. 講義はどの形式が好ましいと思いますか?



- 6-2. その理由を教えてください。(自由記述) <一部抜粋>
 - ・疑問をその場で解決できるので通常の対面授業が良いです
 - ・授業で分からないことがあった時に先生や友人に質問をしやすいから。
 - ・遠隔授業であると集中力が続かなかったり、目が疲れてしまう。また、大学に通学することによって生活リズムが保たれる。
 - ・後で見返しやすく、また大量の講義資料も pdf で配布されるため失くしにくい。課題や小テスト も程よく課されるため効率よく勉強出来る。
 - ・自分のペースで講義資料を読み進めたり、音声を聞いてメモを取れたりするからです。まだメモ しているのにどんどん先に進んでしまう…ということが無かったので、個人的にはとてもやり やすかったです!
 - ・聞き逃しや、細かくメモを取りたい時に止められるのは便利。学習が深まる。
- 6-3. 演習はどの形式が好ましいと思いますか?



- ■通常の対面式授業
- ■リアルタイム・双方向授業(ビデオ会議システムを用いて実施)
- 混在型授業 (一つの科目の中で②と③、もしくは④を併用)
- 非同期・On demand授業(主に講義映像や動画などを配信)
- ■非同期・On demand授業(主に講義資料や音声スライドなどを配信)
- 6-4. その理由を教えてください。(自由記述) <一部抜粋>
 - ・映像では伝わらない臨場感から学ぶことも多い。
 - ・ビデオ会議システムだとその場の雰囲気を読み取ることができず、人の感情も読み取りづらいの で実際に対面した方が良い。
 - ・演習は実際にやってみて覚えることが大切だと思うから
 - ・実際に小グループでディスカッションを行うことで、疑問を解消することが出来たと感じました し、グループのメンバーがどこを疑問に思っているのかを対面で行うことで感じとりやすいの ではないかと思いました。
 - ・ビデオでみて、頭で理解することも必要ではあるが、実際にやってみるのでは全く違う。実施出来る環境があるのであれば、対面で行うのが一番効率的だと思う。
- 6-5. 実習はどの形式が好ましいと思いますか?

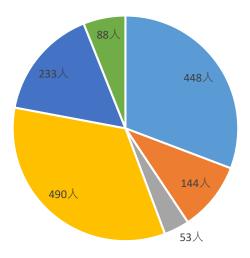


- ■通常の対面式授業
- ■リアルタイム・双方向授業(ビデオ会議システムを用いて実施)
- 混在型授業 (一つの科目の中で②と③、もしくは④を併用)
- 非同期・On demand授業(主に講義映像や動画などを配信)
- 非同期・On demand授業(主に講義資料や音声スライドなどを配信)

6-6. その理由を教えてください。(自由記述) <一部抜粋>

- ・手で実際に機器を扱わないと理解に繋がらないため。実習は経験自体が大事なので対面が望まし い。
- ・先生方にすぐ質問したいし、生徒同士で考えるのが大事だと思う。
- ・操作など実際にやった方が理解できるから。
- ・直接見て、感じて、行うことが実習の意義だと思うからです。
- ・動画の視聴のみでは身につかない。実験器具や機械は自分で試し、技術を身に付けたい。動画で 全て理解して欲しいという要望は無理がある。
- ・動画を見るだけでは得られないスキルもあると思うので、実習は実際に自分で体験して習得する 方が意義があっていいと思った。臨床現場で使うスキルなら尚更そう思う。

6-7. 授業を視聴できる時間について希望はありますか?



- ■決められた時間から聴講でき、授業終了後、数カ月間は聴講可能である(同期・非同期いずれでも可能)。
- ▶ 決められた時間から聴講でき、授業終了後、数日間は聴講可能である(同期・非同期いずれでも可能)。
- ⇒決められた時間にのみ聴講できる(同期・非同期いずれでも可能)。
- ■授業の前から聴講可能であり、授業終了後、数か月間は聴講可能である(非同期・On demand授業に限る)。
- ■授業の前から聴講可能であり、授業終了後、数日間は聴講可能である(非同期・On demand授業に限る)。
- ■特に希望は無い。

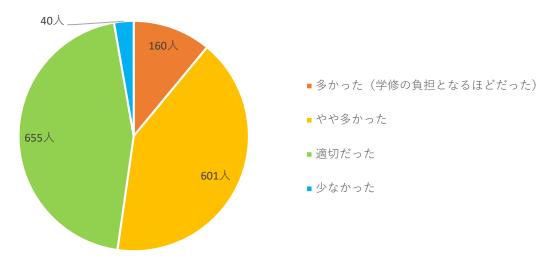
6-8. これからの授業の実施に関して、何か意見がありましたら記載してください。(自由記述) <一部 抜粋>

- ・ハイブリッド希望
- ・対面と遠隔が併用できる授業なら併用していってもいいと思います
- ・オンラインでできる授業もあるとは思うが、学生のモチベーション維持という観点からは対面の 良さも大きい。原則対面という明確な方向性を打ち出せば、学生はそれを支持します。
- ・どんな授業でも復習のために動画などをあげてほしい
- ・実習や実験は対面授業を行ってほしい。
- ・対面で無くてもできる授業があるなら、積極的にオンライン授業がいいと思う。

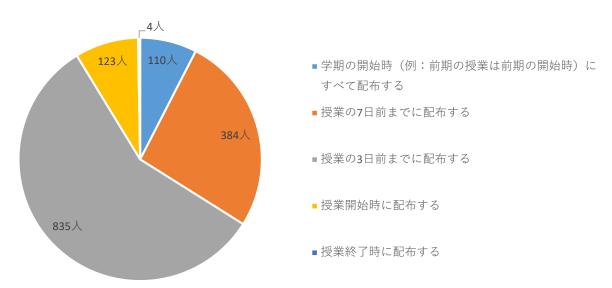
7. 授業資料に関連した事項について

授業資料についてうかがいます。遠隔授業に限らず今年の授業全体をイメージしてください。

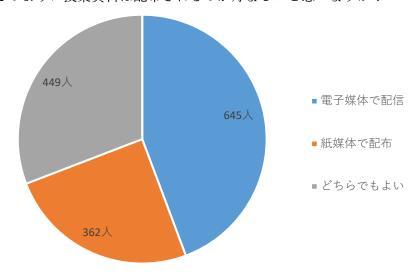
7-1. 授業で配布された授業資料の分量はどうでしたか?



7-2. 資料の事前配布・配信のタイミングはいつが良いですか?



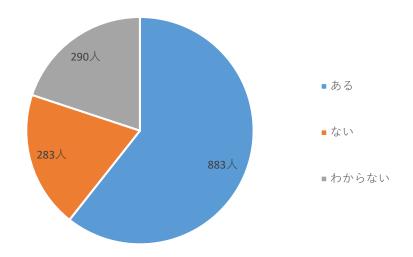
7-3. どのように授業資料は配布されるのが好ましいと思いますか?



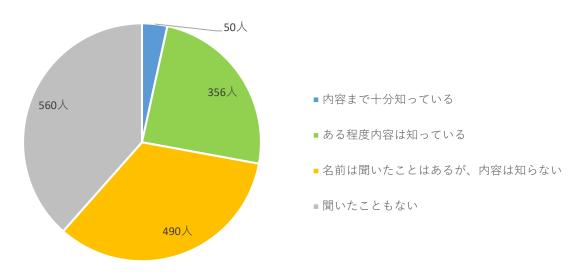
7-4. その理由を教えてください。(自由記述) <一部抜粋>

- ・タブレットを授業で使用しているため電子媒体の方が管理しやすいので電子媒体での配信を希望 する。
- ・講義中に一つ前のスライドが気になった時に見返すことができないので、事前配布は徹底していただきたい。また、紙媒体が必要な場合は各自で印刷すればいいと思う。これまでの紙媒体配布は、学事課に無駄な仕事を増やしていただけだと思う。
- ・紙媒体は通信授業を受ける上で、送付等に費用がかかる。学生全員に ipad を支給し、電子媒体での授業を行うのが望ましい。
- ・電子になれること自体もこれからの時代には必要になってくるスキルだと思うため、これも学習 の一貫としてよいと思うため。
- ・パソコンやタブレットなどから資料を閲覧できることで、検索機能を使うことが可能で見たいも のをすぐに見つけ出すことができ、学習の効率化に繋がるから。
- ・紙のほうが書き込みやすい
- ・今までは大学で印刷できたものを自分の家で印刷するのは金銭的にも負担が大きかったから。

7-5. 著作権法について学んだことがありますか?

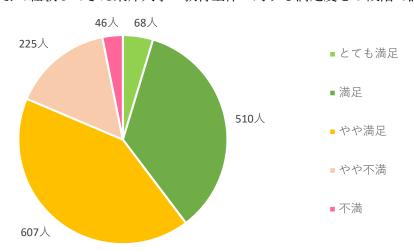


7-6. 著作権法が改正(授業目的公衆送信補償金制度等)されたことを知っていますか?

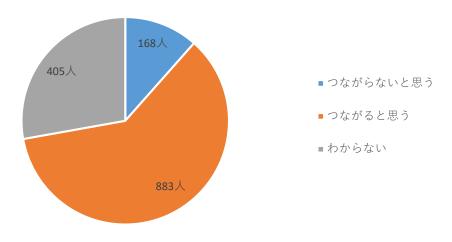


8. その他

8-1. これまで経験してきた東邦大学の教育全体に対する満足度を5段階で評価してください。



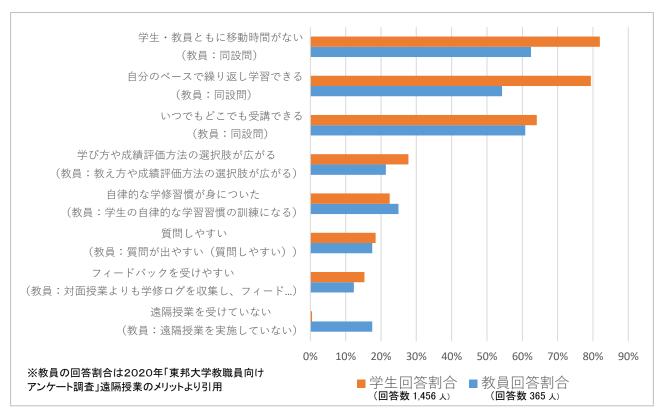
8-2. 遠隔授業の導入は大学の教育改善につながると考えますか?



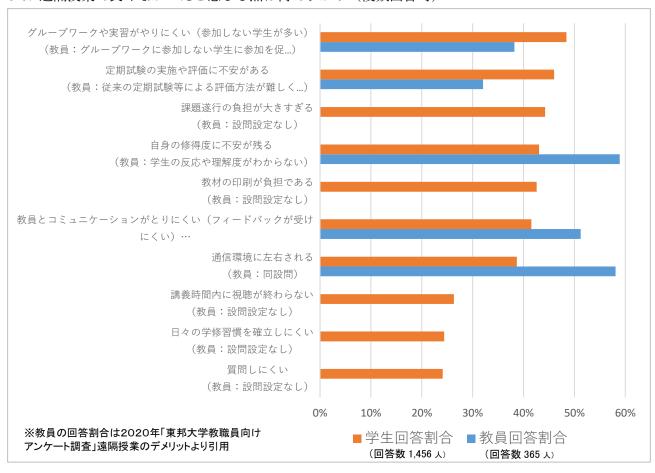
8-3. その理由を教えてください。(自由記述) <一部抜粋>

- ・理由は特にないです。これから色々試していくことが大切だと思います。希望を込めて「つながる」と答えました。
- ・薬学部のカリキュラムは体調不良で一度休むとかなり遅れをとってしまうように思います。オンデマンドの講義があるとそのような場合でも対応できるので有効活用でき安心して学修出来る学生が増えると思います。
- ・通学時間がないため学習時間が増え、自分のやりたい思っていた勉強を思う存分にできたので遠 隔授業の導入は大学の教育改善につながると考える。
- ・通学時間の短縮により、復習に時間をつかえる。苦手な科目は、動画を繰り返し視聴することで理解を深められる。対面の場合、眠くなると授業に身が入らず時間が過ぎてしまうが、オンラインなら自分が集中力が高い時間帯に学習できるため効率がいい。対面だと周りの話声が気になることがあるがオンラインならきにならないし、不快に思うこともなく、ストレスが軽減するため。近年増加している精神疾患を患っている方々もオンラインなら対面より無理なく学習できるため。
- ・対面授業だとかなり受け身の授業になるが、オンライン授業だと自分で考えて自分でやらないと 出来ないので、学生の自身の判断能力の向上に繋がると思います。

8-4. 遠隔授業で良かったと感じる点は何ですか? (複数回答可)



8-5. 遠隔授業で良くなかったと感じる点は何ですか? (複数回答可)



- 8-6. 何かありましたら記入してください。(自由記述) <一部抜粋>
 - ・積極的に遠隔授業を行ってほしい。
 - ・オンライン授業と対面授業をうまく組み合わせてほしい。・春からはもっと良い授業が受けられることを期待しております。良い教員、優しい先輩が多くいる東邦大学に入学したことを後輩にも後悔してほしくないです。
 - ・対面式の授業をすることを強く望みます。なぜなら東邦大学は通信制大学ではないからです。学 費に見合った対面式の授業をするべきだと思います。もし今後も遠隔授業をするのなら、学費を 下げてもらいたいです。
 - ・テストをオンラインでやる意味を感じないので成績評価等しっかりするので有れば対面でテスト を行って欲しい。特待生の選考にも関わることなのではっきり言ってオンラインで実施される テストは非常に腹立たしい
 - ・今年度の経験やこのアンケート等を今後有効活用できることに期待しています。
 - ・オンライン授業によってもたらされる害悪がクローズアップされがちなように思いますが、実際 に経験してみると必ずしもオンライン式が劣っている訳ではないと思います。
 - ・これを機に、受講の形式にもある程度自由度を持たせても良いのではないかと感じています。

以上

別表:学部別集計

3-1. 受けた遠隔授業は主にどのような形式でしたか?

学部	リアルタイ ム・双方向 授業	混在型授業	非同期· On demand授 業(映像· 動画)	非同期・ On demand授 業(資料・ 音声スライ ド)	遠隔授業は 受けていな い	総計
医学部	185人	26人	13人	0人	1人	225人
薬学部	200人	149人	95人	92人	3人	539人
理学部	54人	81人	192人	128人	1人	456人
看護学部	78人	49人	13人	6人	0人	146人
健康科学部	6人	45人	23人	16人	0人	90人
総計	523人	350人	336人	242人	5人	1456人

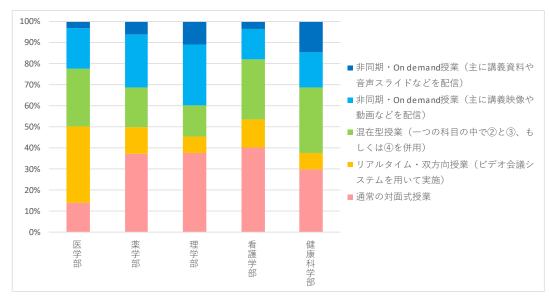
3-2. 受けた遠隔授業の満足度を5段階で評価してください

学部	とても満足	満足	やや満足	やや不満	不満	総計
医学部	66人	90人	56人	9人	4人	225人
薬学部	46人	178人	205人	91人	19人	539人
理学部	30人	146人	162人	93人	25人	456人
看護学部	10人	35人	73人	26人	2人	146人
健康科学部	5人	35人	37人	12人	1人	90人
総計	157人	484人	533人	231人	51人	1456人



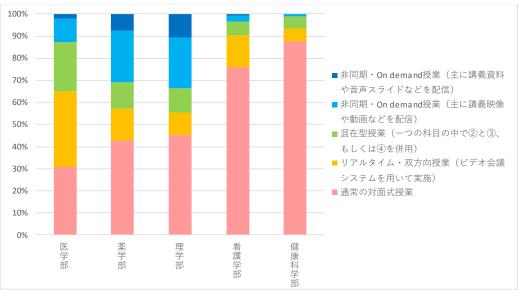
6-1. 講義はどの形式が好ましいと思いますか?

学部	通常の対 面式授業	リアルタ イム・双 方向授業	混在型授業	非同期・ On demand授 業(映像 や動画)	非同期・ On demand授 業(資料 や音声ス ライド)	総計
医学部	31人	82人	62人	43人	7人	225人
薬学部	200人	68人	102人	137人	32人	539人
理学部	172人	36人	66人	133人	49人	456人
看護学部	59人	19人	42人	21人	5人	146人
健康科学部	27人	7人	28人	15人	13人	90人
総計	489人	212人	300人	349人	106人	1456人



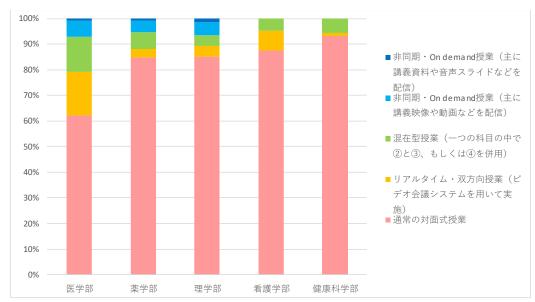
6-3. 演習はどの形式が好ましいと思いますか?

学部	通常の対 面式授業	リアルタ イム・双 方向授業	混在型授業	非同期・ On demand授 業(映像 や動画)	非同期・ On demand授 業(資料 や音声ス ライド)	総計
医学部	69人	77人	50人	24人	5人	225人
薬学部	230人	78人	64人	126人	41人	539人
理学部	206人	47人	49人	106人	48人	456人
看護学部	111人	21人	9人	4人	1人	146人
健康科学部	79人	5人	5人	1人	0人	90人
総計	695人	228人	177人	261人	95人	1456人



6-5. 実習はどの形式が好ましいと思いますか?

学部	通常の対面 式授業	リアルタイ ム・双方向 授業	混在型授業	非同期・ On demand授 業(映像や 動画)	非同期・ On demand授 業(資料や 音声スライ ド)	総計
医学部	140人	38人	31人	14人	2人	225人
薬学部	458人	17人	35人	25人	4人	539人
理学部	389人	19人	18人	23人	7人	456人
看護学部	128人	11人	7人	0人	0人	146人
健康科学部	84人	1人	5人	0人	0人	90人
総計	1199人	86人	96人	62人	13人	1456人

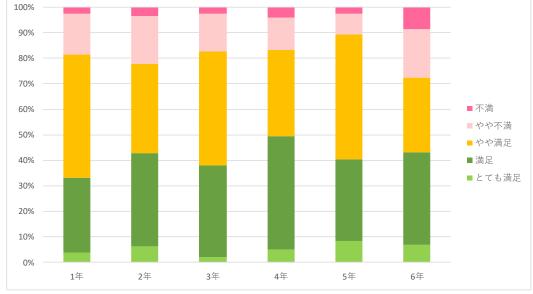


8-1. これまで経験してきた東邦大学の教育全体に対する満足度を5段階で評価してください。

学部	とても満足	満足	やや満足	やや不満	不満	総計
医学部	25人	90人	73人	28人	9人	225人
薬学部	26人	186人	239人	77人	11人	539人
理学部	10人	143人	193人	87人	23人	456人
看護学部	5人	40人	71人	29人	1人	146人
健康科学部	2人	51人	31人	4人	2人	90人
総計	68人	510人	607人	225人	46人	1456人

100%									
90%									
80%									
70%									
60%									■不満
50%					_				●やや不満●やや満足
40%									■満足
30%		_							■とても満足
20%									
10%									
0%		*I7	# 24 #7	TER 224 4:0	手=#25 +1	7	/本 r エイン 244	÷17	
	医学:	部 	薬学部	理学部	看護学部	<u> </u>	健康科学	当S	

学年	とても満足	満足	やや満足	やや不満	不満	総計
1年	17人	127人	210人	70人	11人	435人
2年	21人	127人	121人	64人	12人	345人
3年	6人	105人	131人	44人	7人	293人
4年	10人	91人	69人	26人	8人	204人
5年	10人	39人	59人	10人	3人	121人
6年	4人	21人	17人	11人	5人	58人
総計	68人	510人	607人	225人	46人	1456人



8-2. 遠隔授業の導入は大学の教育改善につながると考えますか?

学部	つながると思う	つながらな いと思う	わからない	総計
医学部	176人	10人	39人	225人
薬学部	315人	63人	161人	539人
理学部	254人	76人	126人	456人
看護学部	70人	17人	59人	146人
健康科学部	68人	2人	20人	90人
総計	883人	168人	405人	1456人

学年	つながると思う	つながらな いと思う	わからない	総計
1年	259人	49人	127人	435人
2年	219人	31人	95人	345人
3年	190人	34人	69人	293人
4年	114人	31人	59人	204人
5年	67人	14人	40人	121人
6年	34人	9人	15人	58人
総計	883人	168人	405人	1456人

